

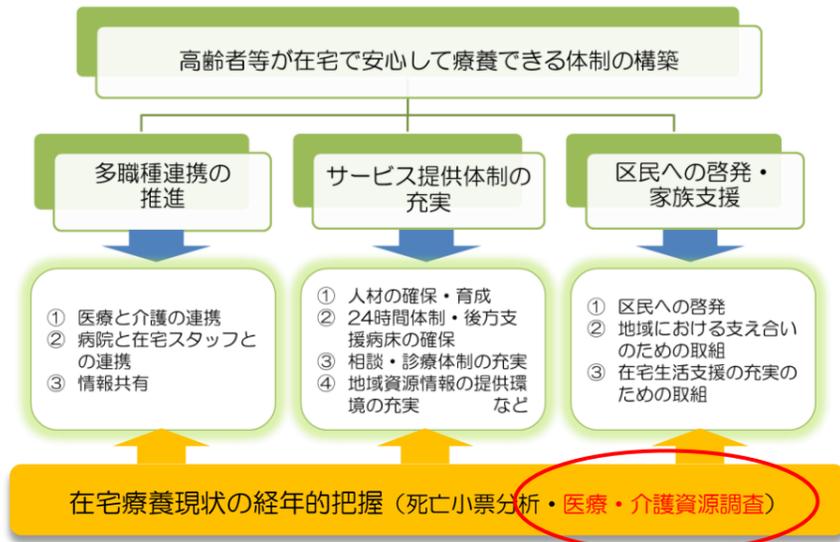
医療・介護資源調査について

1 調査の目的

医療・介護資源の現状を経年的に把握することにより、練馬区における在宅療養の環境整備状況の変化を把握し、施策に活かす。
 ※医療施策検討委員会でも活用予定

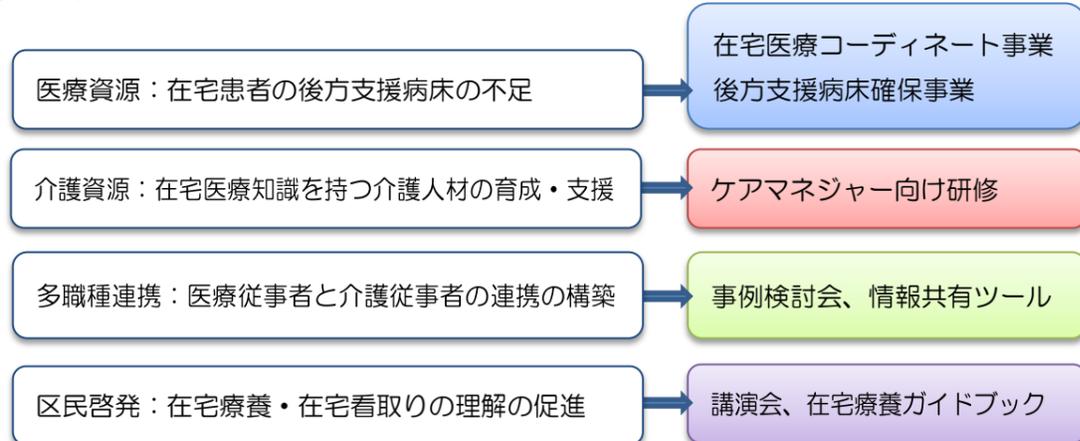
2 調査の位置づけ

在宅療養推進事業計画の課題と取組



3 前回調査（平成 26 年度）結果および在宅療養推進事業の取組

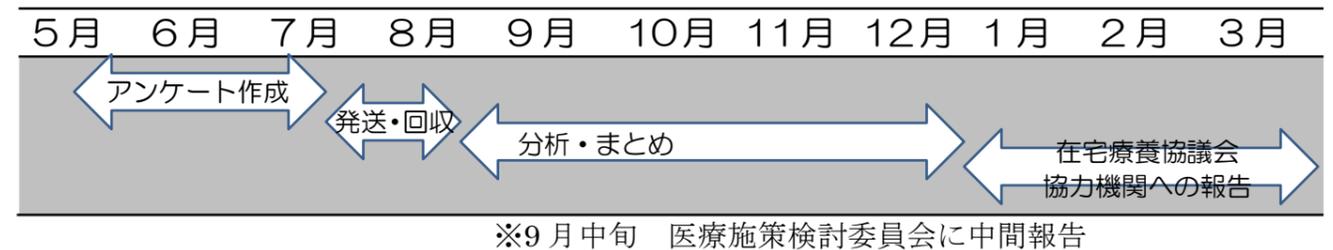
- ① 調査対象：病院医師（1名）、訪問医師（3名）、MSW（1名）
 訪問看護師（4名）、ケアマネジャー（1名）
 高齢者相談センター職員（2名）
- ② 調査方法：個別にヒアリング
- ③ 結果と在宅療養推進事業の取組：



4 平成 29 年度調査の概要（案）

- ① 調査対象：病院（医療連携担当者）（20 か所）、診療所（541 か所）、
 歯科診療所（458 か所）、薬局（311 か所）、居宅介護支援事業所（208 か所）、
 訪問看護ステーション（51 か所）
 ※平成 29 年 4 月現在
- ② 調査方法：アンケート[チェックボックス式（自由記載は任意）、所要時間 10 分程度]
- ③ 調査項目（例）：
 - ・多職種連携の現状
 「医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャーそれぞれとスムーズに連携ができていますか？」
 - ・医療・介護サービスの充足感
 「医療や介護のサービス提供機関が、必要な時にすぐに区内で見つかりますか？」
 - ・訪問診療等への対応
 「患者が外来で受診できなくなった時はどのように対応しますか？」
 - ・在宅療養推進事業の認知度
 「在宅療養ガイドブック『わが家で生きる』等、区の実施を知っていますか？」
 - ・在宅療養を推進するうえでの課題
 「在宅医療や介護サービスの対応にかかる負担を軽減するために、今後何が必要ですか？」

5 スケジュール



6 協力機関へのフィードバック

調査の結果はすべて、組織や個人が特定されない形で、統計データとして報告します。

7 調査への提案

本調査へのご提案は6月9日（金）頃までにご連絡ください。